



がんばれ！ 子育て日記



子どもの“^{きょうだい}兄弟げんか”に ^{こま}困り果てていませんか？

子どもの“**兄弟げんか**”に困り果てているお父さん・お母さんは多いのではないのでしょうか？

例えば、「犬」や「猫」などの動物たちは、兄弟であっても食べ物のために**はげ** ^{あせ} **激しい**争いをするのは普通です。

だから「人間も同じ」という訳ではありませんが、“**社会性**”や“**常識**”がまだ十分に備わっていない子どもたちが動物的な行動に走るの**しょうしき** ^{せつり} **は**、当然の**摂理**ともいえるのではないのでしょうか。



子どもにとって“**家族**”や“**兄弟**”は最初に接する「**社会**」であり、ここでの**つちか** **関係**が**社会性**を培う「**土台**」となります。なので、子どもにとって“**兄弟げんか**”は、「**人間関係**」や「**ルール**」「**マナー**」を学ぶための貴重な機会となるはず**です**。むしろ、今は“**一人っ子**”の子どもが多くなっているため、“**けんか**”をしながら学ぶ事ができる兄弟がそばにいることは、逆に恵まれているの**かもしれ**ませんね。

とはいえ、こういった「**人間関係**」や「**ルール**」「**マナー**」は、子どもたちが自分たちだけで学べるのかと言ったらそうではありません。もちろん、“**家族の力**”も必要な**のです**。

ですから、ご家族の皆さんは“**けんか**”は**ほうち** ^{ちゅうさい} **放置**せず、ちゃんと**仲裁**に入り、ぶつかった**訳**を聞くべき**です**。また、どちらが先に手を出したのか、どちらに**ひが** ^{しか} **非**があるのかを突き止めて適切な**アドバイス**を与えたり、場合によっては**叱**ることも必要**でしょう**。

子どもの**兄弟げんか**といえども、相手の**げんご** ^{きず} **言葉**に傷ついたり、人を否定する**かんじょう** ^{ひてい} **感情**が根付いてしまうことも**あります**ので、できるだけその**場面場面**の**ケア**をして、“**しこり**”を残さないようにすることが**大切**です。

もちろんその場合、「お兄ちゃんだから**我慢**しなさい」「妹だから**ゆずり**なさい」という言い方は**いけません**。そういった**解決法**だと、「泣いた方が**勝ち**なんだ…」とか「**力**のあるほうが**得**をするんだ…」といった“**ゆがんだ考え方**”を子どもに持たせることになって**しまいます**。

お父さん・お母さんはお子さんに、「**仲良くしていることが一番幸せなのだ**」ということ**を伝えたい**ものです**ね**。

年頃の近い兄弟同士でも、あまり**けんか**をすることもなくお互いを思いやり、かばい合っ**て**仲良くやっ**て**いる**ケース**もたくさんある**よう**ですし、逆に、何らかの“**ストレス**”や“**不平不満**”があると**兄弟けんか**が多くなることも**事実**の**よう**です。

そうした意味では、お父さん・お母さんご自身も“**子どもが**ストレス**や**不満**を抱えていないか**”「**家庭内の環境**」を**一度チェック**されて**みて**下さい。

